



概要

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco UCS B200 M5 ブレードサーバ \(1 ページ\)](#)
- [外部機能概要 \(2 ページ\)](#)
- [ドライブ ベイ \(7 ページ\)](#)
- [グラフィック処理ユニット \(7 ページ\)](#)

Cisco UCS B200 M5 ブレードサーバ

Cisco UCS B200 M5 は、密度が最適化されたハーフ幅のブレードサーバで、Intel Xeon プロセッサのスケラブルな CPU ファミリー用に 2 つの CPU ソケットをサポートしています。サーバは、次の機能をサポートしています。

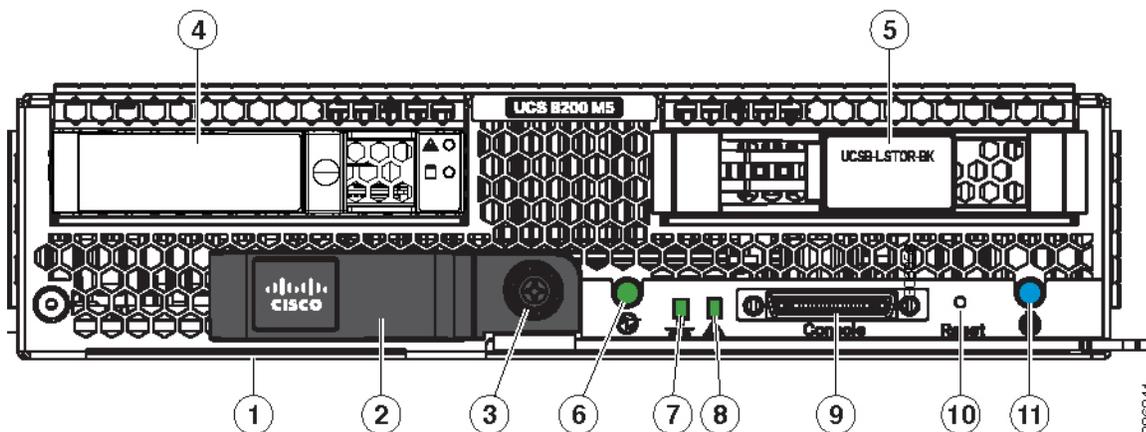
- 24 個の DDR4 DIMM
- 1 個のフロント メザニン モジュール (ストレージまたはグラフィック処理ユニット (GPU))
- 1 個のモジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) モジュール
- 1 個のリア メザニン モジュール (I/O または GPU)
- 次のオプションを備えたミニストレージモジュールソケット：
 - 2 台の SD カード スロットを備えた SD カード モジュール。
 - 2 台の SATA M.2 ドライブ用のスロットを備えた M.2 モジュール
 - Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラ (SATA M.2 ドライブ用に 2 台のスロットを備えたモジュールと、RAID 1 アレイの 2 台の M.2 ドライブを制御できる内蔵 SATA RAID コントローラ)

1 台の UCS 5108 シャーシには最大で 8 台の UCS B200 M5 ブレードサーバを設置できます。必要に応じて、Cisco UCS ブレードサーバの他のモデルを混在させて使用することもできます。



(注) シャーシの電源設定に依存します。

図 1: Cisco UCS B200 M5 ブレードサーバの前面パネル



1	アセットプルタグ	2	ブレードイジェクタハンドル
3	イジェクタつまみネジ	4	ドライブベイ 1
[5]	ドライブベイ 2	6	電源ボタンおよび LED
7	ネットワークリンクステータス LED	8	ブレード状態 LED
9	ローカルコンソール接続	10	リセットボタン
11	ロケートボタンおよび LED	-	



(注) アセットプルタグは、前面パネルから引き出されるプラスチック製のブランクタグです。独自のアセットトラッキングラベルをアセットプルタグに追加することができ、サーバの本来のエアフローを妨げません。

外部機能概要

ここでは、ブレードサーバの外部からアクセス可能な機能について説明します。

LED

サーバのLEDは、ブレードサーバがアクティブモードかスタンバイモードか、ネットワークリンクの状態、ブレードサーバの全体的な状態、およびサーバがロケータ ボタンから青色に点滅するロケータ ライトを表示するように設定されているかどうかを示します。

リムーバブルドライブには、ハードディスクのアクセス アクティビティとディスクの状態を示すLEDがついています。

表 1: ブレードサーバ LED

LED	色	説明
電源	消灯	電源がオフです。
	グリーン	主電源の状態。電力はすべてのサーバコンポーネントに提供され、サーバは正常に動作しています。
	オレンジ	<p>スタンバイ電源の状態。電力はサーバの管理を維持できるようにサーバのサービスプロセッサにのみ供給されます。</p> <p>(注) 前面パネルの電源ボタンはデフォルトでは無効になっています。Cisco UCS Manager から再度有効化できます。有効にした後、前面パネルの電源ボタンを押して放すと、サーバは 12 V 主電源を正しくシャットダウンし、スタンバイ電源状態になります。前面パネルの電源ボタンからスタンバイ電源をシャットダウンすることはできません。ソフトウェアインターフェイスからサーバの電源を完全にオフにする方法については、『Cisco UCS Manager Configuration Guide』を参照してください。</p>

LED	色	説明
Link	消灯	アップしているネットワークリンクがありません。
	グリーン	1つ以上のネットワークリンクがアップしています。
状態	消灯	電源がオフです。
	グリーン	通常動作中です。
	オレンジ	軽微なエラーです。
	オレンジに点滅	重大なエラーです。
青色ロケータ ボタンおよび LED	消灯	点滅が有効化されていません。
	1 Hz での青の点滅	選択されたブレードの位置を特定するための点滅。LED が点滅していない場合、そのブレードは選択されていません。UCS Manager または青色ロケータ ボタン/LED を使用して点滅を制御できます。
アクティブな状態 (ディスク ドライブ) □	消灯	非アクティブ状態です。
	グリーン	ディスク ドライブへの顕著な入出力があります。
状態 (ディスク ドライブ)	消灯	障害が検出されなかったか、ドライブが設置されていないことを示します。
	オレンジの点滅 4 hz	ドライブの再構築がアクティブの状態です。 動作 LED もオレンジで点滅している場合は、ドライブの再構築が進行中です。
	オレンジ	障害が検出されました。

Buttons

リセットボタンはサーバの前面パネルのくぼんだ部分にあります。クリップの先端などを使用してこのボタンを押すことができます。ボタンを5秒間押し続けてから放すと、他の方法による再起動中でなければ、サーバが再起動します。

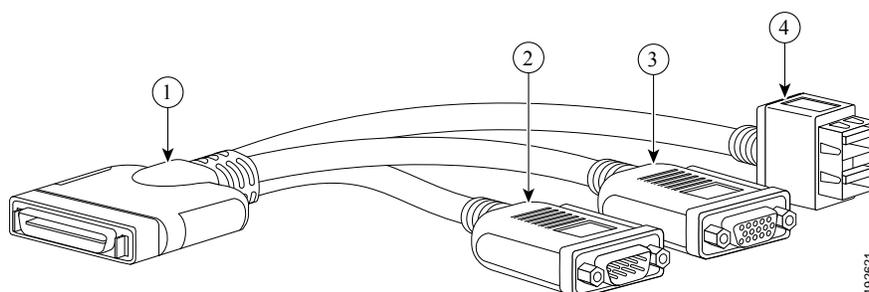
個々のサーバのロケータ機能は、ロケータ ボタン/LED を押すことにより、オンまたはオフにすることができます。

前面パネルの電源ボタンはデフォルトでは無効になっています。Cisco UCS Manager から再度有効化できます。有効にすると、電源ボタンを使用してサーバを手動で一時的にサービス休止状態にすることができ、この状態からは短時間で再起動できます。ブレードサーバに関連付けられたサービスプロファイルで、必要な電源状態が「オフ」に設定されていると、電源ボタンまたは Cisco UCS Manager を使用してサーバをリセットした場合に、サーバに必要とされる電源状態が実際の電源状態と一致しなくなり、その後、サーバが不意にシャットダウンすることがあります。サーバを電源停止状態から安全に再起動するには、Cisco UCS Manager でブートサーバのアクションを使用します。

ローカル コンソール接続

ローカルコンソールコネクタを使用すると、ブレードサーバに直接接続できるので、オペレーティングシステムのインストールなどの管理タスクをリモートからではなく、直接実行できます。このポートには、KVM ドングルケーブルを使用して Cisco UCS ブレードサーバに直接接続できます。Cisco UCS ブレードサーバは、DB9 シリアルコネクタ、モニタを接続する VGA コネクタ、およびキーボードとマウスを接続するデュアル USB ポートを備えています。このケーブルを使用すると、ブレードサーバで実行しているオペレーティングシステムと BIOS に直接接続できます。KVM ケーブルは、ブレードシャーシアクセサリキットに標準で付属しています。

図 2: ブレードサーバ用 KVM ケーブル



1	ブレードサーバのローカルコンソール接続へのコネクタ	2	DB9 シリアルコネクタ
3	モニタ用の VGA コネクタ	4	マウスおよびキーボード用の 2 ポート USB コネクタ

ドライブベイ

Cisco UCS B200 M5 ブレード サーバには、ストレージモジュールまたはグラフィック処理ユニット (GPU) のいずれかをサポートできるフロントメザニンズロットがあります。ストレージモジュールには、2.5 インチの SAS、SATA、または NVMe ドライブの任意の組み合わせで構成できる 2 つのドライブベイがあります。ブランクパネル (UCSB-LSTOR-BK) では、すべての空のドライブベイを覆う必要があります。

グラフィック処理ユニット

NVIDIA GPU は、サーバの前面メザニンズロットに取り付けできます。GPU が取り付けられるとき、ドライブベイは存在しません。GPU が前面メザニンズロットに取り付けられているときに、2 つのブランキングパネル (UCSB-LSTOR-BK) が必要です。GPU に関する追加情報については、[NVIDIA P6 GPU カード](#) を参照してください。

